



相ノ木っ子だより



令和7年度
10月号
上市町立
相ノ木小学校



全国学力・学習状況調査結果から



4月に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果から本校児童の傾向についてお伝えします。まず、各教科（国語、算数、理科）の学力調査は、全体的に無答が少なく、一生懸命学びに取り組もうとする主体性を感じられました。国語では、文章や資料の読み取りや活用、目的に応じて文章と図表を結びつける分野の正答率が高かったです。算数では、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見出す分野における正答率が高かったです。理科では、変える条件と変えない条件を正しく設定した実験方法を発想し、表現する分野の正答率が高かったです。相ノ木っ子のよさがたくさん見付かりました。

ただ、国語では、目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられました。算数では、分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がみられました。理科では、身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引き付けられるものがあることの知識に課題がみられました。

そこで、国語では、文章のまとめを作ることができるように、伝えたいことに関係する事実や具体例、詳しく説明するための情報等の材料を集め、それらを取捨選択したり、テーマごとに分類したりするなど、整理する学習活動を取り入れたいと思います。算数では、単位をそろえて計算するという加法や減法の計算の基本の考え方方が身に付くよう、形式的に通分をして計算するのではなく、通分することによって単位分数の個数に着目して考える活動を取り入れるようにしていきたいと思います。また、理科では、鉄、アルミニウム、ガラス、木等、同じ対象物を用いて学習することが多いので、習得した知識を分類整理し、物質の特性についての理解を深めていきたいと思います。

次に、質問紙による学習状況調査については、「毎日朝食をとっている」「同じ時刻に起床している」等の生活習慣が身に付いている子供が多いです。また、「先生はよいところを認めてくれている」「人の役に立ちたい」「学校に行くのが楽しい」「友達関係に満足している」と答える子供が多く、安心して学校生活を送っている様子が伺えます。

ただ、課題としては、家庭学習や家庭で読書に取り組む時間が少なく、テレビゲームやスマートフォンを使ってSNSや動画視聴をする時間が長いことや就寝時刻が遅いことが挙げられます。ゲームや動画の楽しさはよく分かりますし、気分転換にもなるのでしょうか、興味のあることへの自主学習、活字に触れる機会、体験的な遊び等にもう少し時間をかけることが必要だと思います。

以前お配りした「^{がくじゅう}樂修のすすめ」も参考にして、家庭学習の充実を図っていただけるとありがたいです。実りの秋、家庭学習も充実し、子供たちの力が一層高まることを願っています。

運動会開催

9月27日（土）絶好の好天の下、相ノ木地区大運動会を行いました。たくさんの保護者や地域の皆様も来ていただき、ありがとうございました。今年は、児童数の減少に伴い、昨年までの赤白青の3団編成から、赤白のみの2団対抗になりました。6年生の団役員の子たちにとっては、団員の人数が増えたので、まとめるのも大変だったことでしょう。6年生は夏休み中から集まってデコレーションを作成し、9月9日の結団式からは、全校児童が本番に向けて力



と心を合わせて一生懸命に練習してきました。その成果を十分に發揮し、一人一人が活躍した心に残る運動会になったと思います。特に、親子の絆と和やかな雰囲気が滲み出していた親子競技、意地のぶつかり合いと熱い戦いを見させてくれた騎馬戦や綱引き等、多くの種目で一日開催のよさを感じました。子供たちは最後まで力を尽くして頑張っていましたし、保護者の皆さんもテント等の準備や片付けを一生懸命手伝ってくださいました。相ノ木っ子、ご家族、地域の皆さんとの絆を深めた一日であったことが何よりうれしかったです。

上司選択制度

厚生労働省の調査によると、2021年卒の新卒社員の3年以内離職率は34.9%であり、これは過去のデータと比較しても高いそうです。この若い社員の離職率の高さが社会問題の一つになっています。その主な要因として、労働環境や給与水準、職場の人間関係があげられているそうです。

そんな中、北海道のある会社が、「上司選択制度」を導入したそうです。上司との人間関係がうまくいかないことを理由に退職を考えていた社員が、別の部署で別の上司の下で働くことを選択できるようにしたことで離職を思いとどまつたそうです。これで話が終われば、この社員にとっては「よかったです」のですが、部下に変わって行かれた上司のほうはいい気持ちはしないでしょう。しかし、この話には続きがあって、別の部署に変わったこの社員は、しばらくして元の部署を希望して戻つたそうです。その理由が、当初はいやだった元の上司のやり方が、他の部署に変わってみたことで、実は効率的であることが分かってきたからだそうです。そして元の上司も、この件があつて自分のやり方を見直し、この部下が戻ってきてからも、うまく関係を作っていくことができるようになったそうです。全てがこんなうまくいくわけではないとは思いますが、選択肢の一つにはなるかもしれません。

これを学校に当てはめてみると、先生方が管理職を選ぶ制度、子供たちが担任を選ぶ制度のようになるのでしょうか。年度末になると子供たちから、「校長先生、来年の○年生の担任の先生は、○○先生にしてよ」という声を聞くことがあります。多分ご家庭でも、「○○先生がいいなあ」という声を聞かれることがあるでしょう。限られたスタッフの中で、学級担任を決めなければならない学校での実現は難しいと思いますが、もしそうなつたら、管理職として先生方から選ばれるのか、学級担任や教科担当として子供たちから選ばれるのか、そういう視点ももち、襟を正しながら、日々の教育実践に取り組んでいきたいものです。

また、これを家庭に当てはめるとどうでしょう。しばらく前に「親ガチャ」という言葉がはやりました。子供側は親を選べないという、ネガティブイメージの言葉だったと思います。しかし、親側から見ると、「子ガチャ」もあるのかもしれません。互いにガチャだと思っていると全く良い方向には進まないと思いますから、せめて大人の方からは「あなたの親でよかったです」等のポジティブな言葉のシャワーを意識してみてはどうでしょう。きっと、子供たちも悪い気はしないでしょうし、親の思いに応えようと頑張ってくれるのではないかでしょうか。「相ノ木小学校でよかったです」「みんなの担任でよかったです」「うちの子でよかったです」という言葉があふれる学校や家庭でありたいものです。

行事予定(10月中旬～11月中旬)

10月16日（木）	運動能力向上支援事業 (1、2年・マット運動)	11月 3日（日）	(祝)文化の日
17日（金）	就学時健康診断 下校 1～4,6年 12:10 5年 15:00	4日（火）	4年校外学習（とやまキラリ）
20日（月）	自主学習がんばり週間 (24日まで)	5日（水）	研修会のため 給食後 12:20 一斉下校
21日（火）	研修会のため 13:00 一斉下校	12日（水）	放課後こども教室 14:00
22日（水）	6年ふるさと学習 放課後こども教室 14:00	15日（土）	学習発表会・相ノ木フェスティバル 親子下校 15:50
		17日（月）	振替休業日
		19日（水）	1、2年水泳教室

